

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課	担当課長名	夏木 敏宏
(※)第2期実施計画の事業名	汚水整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3071 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目1汚水整備の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	施設の耐震化、長寿命化
事業の対象 (誰を、何を)	重要な幹線(下水処理場に直結、緊急輸送路、主要防災施設に接続される管渠)
事業の手段・方法 (どのように)	管渠の改築・更新を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条、下水道地震対策緊急整備事業(H18)、長寿命化支援制度(H20)

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		84,490		659,464		526,043		1,020,900		79.8%
主な内訳	工事請負費	71,541		641,925		499,109		868,000		77.8%
	委託料	12,949		17,539		26,934		145,000		153.6%
	補償費							7,900		-
人件費(人・千円)		0.66	4,884	0.83	6,308	0.68	5,304	0.71	5,538	81.9%
内訳	正職員	0.66	4,884	0.83	6,308	0.68	5,304	0.71	5,538	81.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		89,374		665,772		531,347		1,026,438		79.8%
財源	国・府支出金	35,000		316,000		250,280		461,000		79.2%
	地方債	36,100		342,419		259,600		493,900		75.8%
	その他()	395		884		105		1,155		11.9%
	うち受益者負担 B	395		884		105		1,155		11.9%
	一般財源 C	17,879		6,469		21,362		70,383		330.2%
一般財源比率 C÷A		20.0%		1.0%		4.0%		6.9%		413.8%
受益者負担率 B÷A		0.4%		0.1%		0.0%		0.1%		14.9%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	普及率	%	100	100	100	100	100	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	汚水管の改築更新	km	0.0	0.2	0.2	0.9	1.5	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	汚水管の耐震化	km	0.06	0.5	0.3	1.4	1.5	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				目標どおり普及率は100%を達成し、改築更新事業に移行できたため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			普及率が100%に達し、改築更新事業に移行したため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、施設の老朽化及び耐震化の対策を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	社会資本整備総合交付金について、要望額に対する内示額が近年減少傾向であり、改築に係る国費支援について削減傾向にある。
	対 策	事業の重点化を図るとともに、要望活動を実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	普及率は100%に達しており、今後は老朽管の更新と耐震化を汚水整備事業として継続していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課		担当課長名	夏木 敏宏	
(※)第2期実施計画の事業名	雨水整備事業		財務会計上の事業名		
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3072	1	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第7節下水道事業の充実			
	項目	項目2雨水整備の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	浸水被害の軽減及び分硫化の推進
事業の対象 (誰を、何を)	過去の浸水区域及び災害区域
事業の手段・方法 (どのように)	雨水管の整備を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29				
事業費(千円)		708,116	505,635	649,287	376,403	128.4%				
主な内訳	工事請負費	677,398	471,780	539,553	316,000	114.4%				
	委託料	20,844	25,362	60,448	28,300	238.3%				
	補償費	9,874	8,493	49,286	32,103	580.3%				
人件費(人・千円)		2.44	18,056	3.07	23,332	2.72	21,216	2.84	22,152	88.6%
内訳	正職員	2.44	18,056	3.07	23,332	2.72	21,216	2.84	22,152	88.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		726,172	528,967	670,503	398,555	126.8%				
財源	国・府支出金	340,243	211,100	275,696	150,000	130.6%				
	地方債	367,400	294,427	363,500	217,100	123.5%				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	18,529	23,440	31,307	31,455	133.6%				
一般財源比率 C÷A		2.6%	4.4%	4.7%	7.9%	105.4%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	雨水整備により浸水区域の解消率	%	28.7
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	全体計画雨水管延長206.6km	km	59	59	60	63	60
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				社会資本整備総合交付金が要望どおりに配分されないため、計画どおりに進んでいない。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				浸水箇所の解消を図るため、雨水管渠整備を実施し、整備率は順調に推移している。都市機能が集積する重点地区における浸水被害を軽減するため、浸水被害軽減事業計画に基づき事業を実施する必要がある。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	浸水対策事業を継続して実施していくとともに、浸水被害軽減事業計画に基づき事業を実施していく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	社会資本整備総合交付金について、要望額に対する内示額が近年減少傾向。
	対 策	事業の重点化を図るとともに、要望活動を実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は順調に推移している。浸水被害を軽減するため、国の交付金を最大限に活用し、今後も事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水処理場	担当課長名	村島 清太
(※)第2期実施計画の事業名	下水処理場施設整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3073 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目3下水処理機能の充実と資源の有効利用	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	下水処理施設の更新により、円滑な下水処理機能を維持する。(昭和43年度供用開始)
事業の対象 (誰を、何を)	下水処理施設
事業の手段・方法 (どのように)	更新計画に伴い機能更新事業を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	下水道法第3条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		427,905		476,844		303,358		349,954		63.6%
主な内訳	工事請負費	399,480		447,898		272,592		248,000		60.9%
	委託料	28,080		28,350		30,456		100,900		107.4%
人件費(人・千円)		2.16	15,984	2.18	16,568	2.14	16,692	2.04	15,912	98.2%
内訳	正職員	2.16	15,984	2.18	16,568	2.14	16,692	2.04	15,912	98.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		443,889		493,412		320,050		365,866		64.9%
財源	国・府支出金	231,000		245,900		153,400		127,950		62.4%
	地方債	196,200		220,784		121,000		183,400		54.8%
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	16,689		26,728		45,650		54,516		170.8%
一般財源比率 C÷A		3.8%		5.4%		14.3%		14.9%		263.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	下水処理施設の調査・設計業務について専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	施設機能更新及び整備については、国の交付金制度、下水道長寿命化支援制度等を活用しており、池田市職員が直接、大阪府に申請等の調整を行うため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画的な機能更新の実施	%	100	100	100	100	100	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ポンプ棟耐震化 (汚水ポンプ棟、放流ポンプ棟)	%	50	60	75	100	85	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				処理場施設の機能更新計画を見直した結果、令和元年度に処理水放流ポンプNo.2,3号の更新工事が必要となり、放流ポンプ棟の耐震化工事と併せて施工する見直しを行ったため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				処理場施設の機能更新計画を見直した結果、令和元年度に処理水放流ポンプNo.2,3号の更新工事が必要となり、放流ポンプ棟の耐震化工事と併せて施工する方が安価なため見直しを行った。この見直しにより、当初目標の指標値と事業費の指標値の整合がとれていない。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	処理場施設の機能更新計画を見直した結果、令和元年度に処理水放流ポンプNo.2,3号の更新工事が必要となり、放流ポンプ棟の耐震化工事と併せて施工する方が安価なため見直しを行った。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	経費削減、事業費の平準化を考慮した長期的な更新事業を行っているため。	
現在抱える課題と対策	課 題	老朽施設の更新・長寿命化や大規模災害に備えた耐震化に多額の費用が必要。
	対 策	交付金制度、長寿命化支援制度等を活用し費用の確保に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	計画的な機能更新についての達成状況は、順調に推移している。耐震化事業についても、耐震診断や耐震設計の結果を踏まえ、効率的な処理場施設の更新、長寿命化や耐震化に取り組んでいく。下水道事業については、国からの交付金を最大限に活用し事業を進めている。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越英樹
(※)第2期実施計画の事業名	公共下水道事業経営健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3074 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目4事業の持続性の確保	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	財政の健全化を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	公共下水道事業
事業の手段・方法 (どのように)	国費の有効活用、経費の削減など効率的な経営に努める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)										-
主な 内 訳										-
										-
人 件 費 (人・千円)		0.20	1,480	0.35	2,660	0.20	1,560	0.20	1,560	57.1%
内 訳	正職員	0.20	1,480	0.35	2,660	0.20	1,560	0.20	1,560	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		1,480		2,660		1,560		1,560		58.6%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他 ()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,480		2,660		1,560		1,560		58.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、民間委託範囲の拡大についての検討は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	106,509	166,743	135,811	0	61,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成26年度から黒字に転換し、5年連続の黒字を達成するとともに、令和元年度においても黒字予定であるため。						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成26年1月に下水道使用料を改訂したため、平成26年度から5年連続の黒字決算となっており、平成30年度に繰越欠損金も解消し、順調に推移している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成29年度から福祉減免制度の廃止を実施。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、業務の効率化に努める。	
現在抱える課題と対策	課 題	下水道施設の耐震、更新需要の増。
	対 策	経営戦略の策定、アセットマネジメントの手法を導入。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	5年連続の黒字決算となり、令和元年度も黒字予定ではあるが、今後の人口減少や事業費の増加等厳しい状況が予想されるため、平成30年3月に策定した経営戦略に基づいて事業を遂行し、今後も効率的な事業経営を継続していく。	